

第1回 10月24日(金)

「グリムのドイツ語辞典から電子辞書まで」

講師：成田 節 東京外国語大学外国語学部言語・情報講座欧米第一課程教授

ドイツ語の辞書には古いもの新しいもの、大きなもの小さなもの、目的ごとの特殊辞書など実に色々な種類のものがあります。また、最近では紙媒体の辞書ばかりではなく、かなりの数の辞書が電子媒体によりコンピューターで検索可能となっています。

この講座では、日本では昔話(グリム童話)でもよく知られているグリム兄弟が編纂を始めた「ドイツ語辞典」、大言語学者ヘルマン・パウルの「ドイツ語辞典」などからはじめて、ドゥーデンの各種ドイツ語辞典、ランゲンシャイト社のドイツ語学習者向け辞典など、また、語源辞典、図解辞典、発音辞典、外来語辞典、結合価辞典、口語辞典、さらに各種独和辞典、和独辞典などを取り上げ、記載項目を具体的に見比べながら紹介します。

ドイツ語の辞書の世界が実に多様に展開されているということ、電子化された辞書には長所もあれば短所もあるということ、そして、どんな辞書にも限界があるということなどをお話したいと思います。